

## 社会価値創造へ チャレンジ必要

### オリコンサル HDが定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは1日、第28回定例会を開き、グループ各社での重点化プロジェクトの取り組みを共有した。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ビデオ会議ツールとストーリーミング配信により開催し、約1200人のグループ役職員が参加した。写真。



定例会は、ビジョン・2025年中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進するための場と位置付けて実施している。今回は5件の重点化プロジェクトの成果と今後の展開が発表され、活発に意見交換した。出席した役職員によるインターネット投票の結果、工藤徹郎さん（オリエンタルコンサルタンツ）が発表した「ICT土工のマネジメントサービスにおけるCIIMの高度化」が最優秀賞に選ばれた。

最後に、野崎秀則社長が、「インフラ事業においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）は不可欠となり、また一層の総合化が求められている。チャレンジしなければ新たなノウハウや新たな事業モデル、新たな市場開拓はできない。今後も社会価値創造に向けて、一層の技術の高度化、総合化に努め、国内の多様なフィールドで事業大を進めてほしい」と要請締めくくった。